

展示



【展示場所】越前町織田文化歴史館

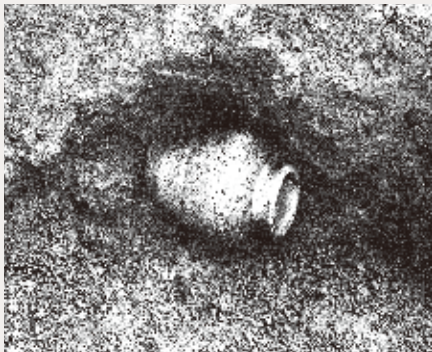
9 越前町

越前焼三筋壺

越前焼三筋壺は、越前窯初期の窯である越前町小曾原の上長佐3号窯から出土しました。これが見つかったことで、いまで常滑窯周辺でのみ作られていたとされる三筋壺が、越前でも作られていたことがわかりました。越前窯のルーツを探るうえで重要な手がかりである三筋壺は現在、織田文化歴史館にて展示され、当館の見どころのひとつとなっています。

【推薦者】
越前町織田文化歴史館
学芸員 菱田 百花

可指定
有形
文化財



越前焼三筋壺出土状況

10 勝山市

青白磁観音像

約670年前、中国の焼き物産地「景德鎮」でつくられたものです。国内では数例しかみつかっていません。平泉寺の僧侶がくらししていた院・坊跡から出土しました。顔や手足、衣や装飾品は細かく、丁寧につくられています。観音像は白さを際立たせ、台座は黒っぽく仕上げるこだわりも。残念ながら割れて出土しましたが、中世の平泉寺僧侶の心の一面が見えてきそうです。なお、観音像が出土した院・坊跡は整備され、中世の石垣や石畳道を見て歩くことができます。

【推薦者】
勝山市商工文化課
松村 英之



観音像が出土した院・坊跡



【展示場所】白山平泉寺歴史探遊館まほろば

11 大野市

大野町絵図

大野市の市街地は、天正時代に織田信長の家臣・金森長近によって整備された大野城下町が基盤になっています。戦災や震災に遭っていない大野市は、街区や道筋が当時の姿をほぼとどめており、外敵の侵入を警戒して作られた鉤型の道筋や、街道に沿って建ち並んだ大店の雰囲気をも今に伝えます。幕末に描かれた大野町絵図を使って、史跡めぐりも楽しめます。

【推薦者】
大野市生涯学習・文化財保護課
指導学芸員 田中 孝志



【展示場所】大野市歴史博物館

8 福井市立郷土歴史博物館

【所在地】福井市宝永3丁目12-1
【電話番号】0776-21-0489
【開館時間】9:00～19:00（入館18:30まで）
11/6～2月末日17:00閉館
【入館料】220円、
養浩館庭園との共通券350円
中学生以下、70才以上の方は無料
【休館日】年末年始（12/28～1/4）



10 白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

【所在地】勝山市平泉寺町66-2-12
【電話番号】0778-87-6001
【開館時間】9:00～17:00
（入館は16:30まで）
【入館料】無料
【休館日】年末年始



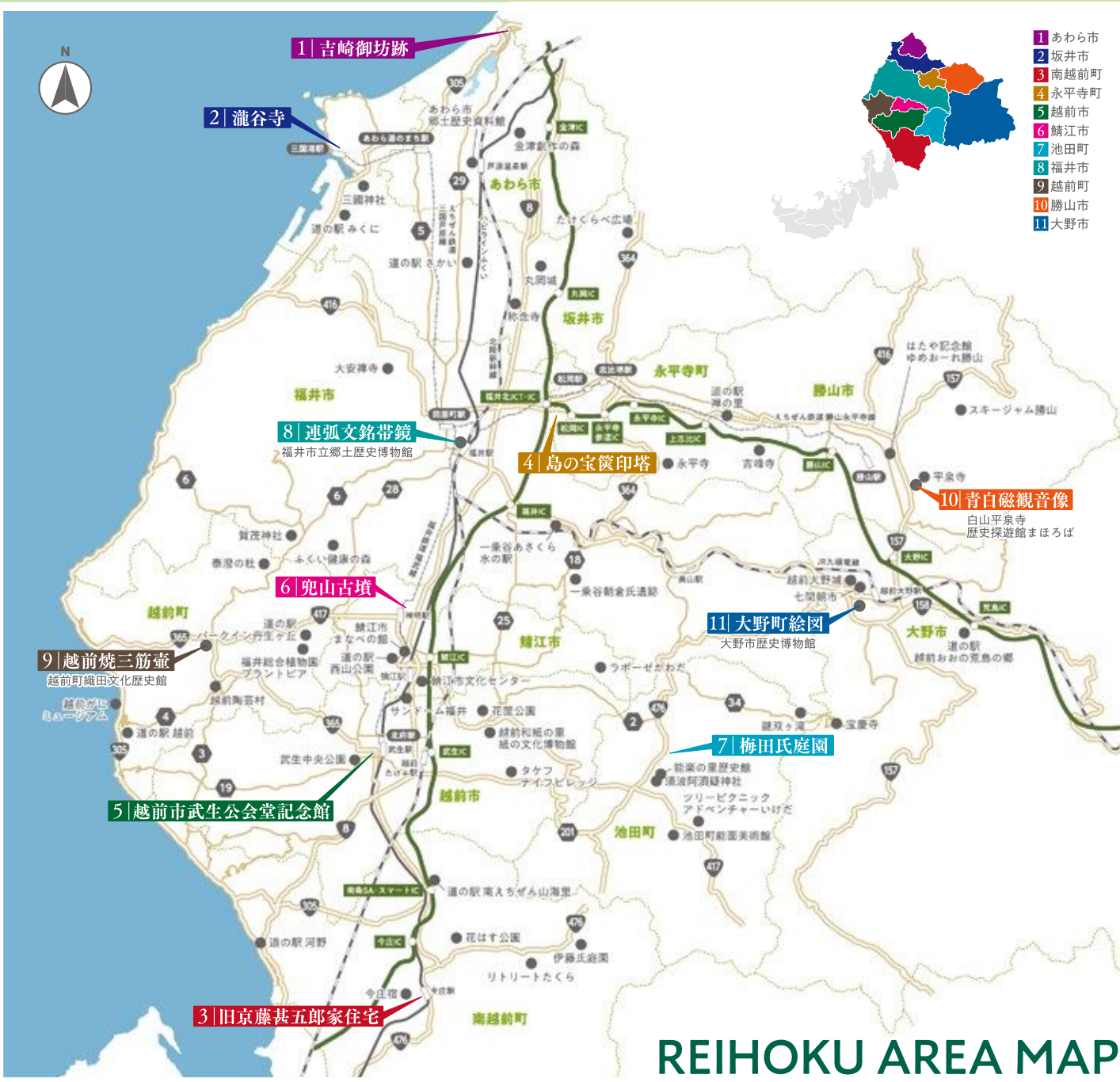
9 越前町織田文化歴史館

【所在地】越前町織田153-1-8
【電話番号】0778-36-2288
【開館時間】10:00～18:00
（入館は17:30まで）
【入館料】100円
中学生以下、70才以上の方は無料
【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）、
年末年始（12/28～1/4）



11 大野市歴史博物館

【所在地】大野市天神町2-4
【電話番号】0779-65-5520
【開館時間】（平日）9:00～16:00
（日曜・祝日）9:00～17:00
【入館料】400円 中学生以下無料
【休館日】毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、
年末年始（12/27～1/4）



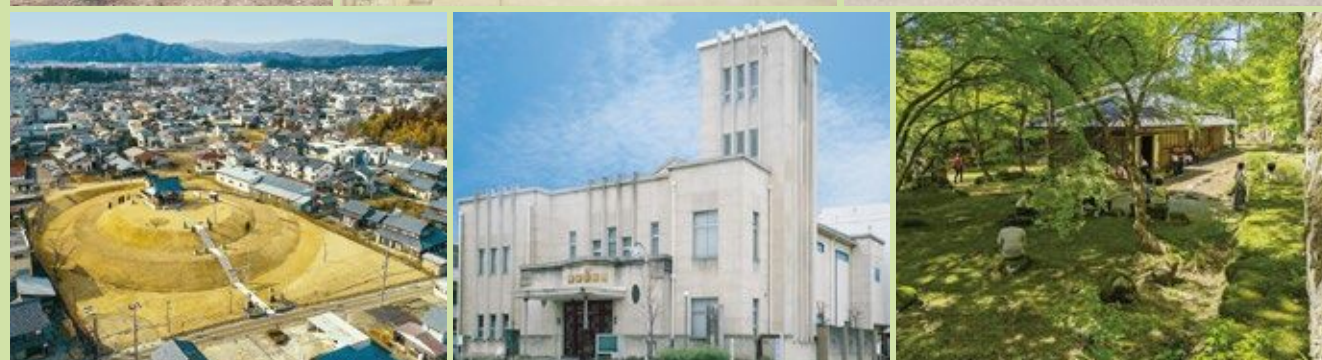
発行元 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン文化振興事業推進部会（令和8年3月）
福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町
問い合わせ先 福井市商工労働部観光文化スポーツ局文化振興課
〒910-0858 福井市手寄1-4-1 AOSSA 5階 TEL：0776-20-5367 FAX：0776-20-5670

このパンフレットで紹介した歴史スポットの詳細情報や、過去に作成した文化資源パンフレットはこちらからご覧ください。



TREASURE PLACE

ふくい
嶺北
11市町



推しの文化資源



1 あわら市

よしざき ごぼうあと 吉崎御坊跡

【推薦者】
あわら市郷土歴史資料館
学芸員 吉田 紺碧

国指定
史跡

吉崎御坊跡は、戦国時代に浄土真宗本願寺の蓮如が布教の拠点とした地で、北陸中から門徒が集まりました。その結果、元々人が近寄らない場所であった当地に約4年間で200軒も薨(いらか)を並べる大きな寺内町が形成されました。現在、西側を望むと日本海と北潟湖が広がり、春には満開の桜が咲くなど、風光明媚な点が特に一押しです。



吉崎御坊跡からの眺望



【アクセス】
JR[芦原温泉駅]から車で15分/
北陸自動車道[金津IC]から車で15分



2 坂井市

たきだんじ 瀧谷寺

【推薦者】
坂井市教育委員会文化課
学芸員 矢部 弥咲

国指定
重要
文化財

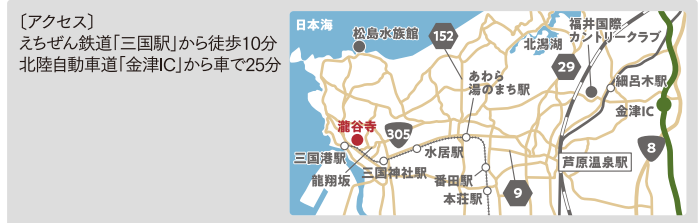
国指定
名勝
ほか

瀧谷寺は永和元年(1375)に開かれた真言宗の古刹で、令和7年に開山650年を迎えました。本堂や観音堂、方丈、庫裏などの伽藍によって構成され、建造物のほか、庭園に加え、古文書や美術工芸品を展示している宝物殿を拝観することができます。さらに令和8年は、12年に1度、午年にのみ公開される越前万歳図絵馬(県指定文化財)が一年を通して展示されます。



【公開日】8:00~17:00(冬期11月~2月は、8:00~16:30)

【拝観料】大人500円、中高生300円、小人200円
【定休日】無休



3 南越前町

きゅうきょうとう じん ご ろう けいじうたく 旧京藤甚五郎家住宅

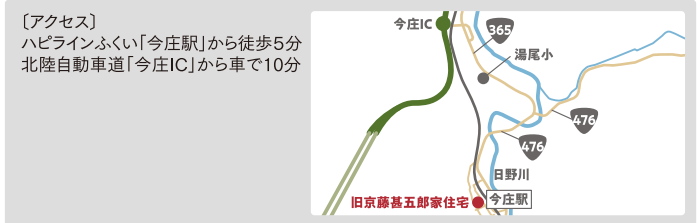
【推薦者】
南越前町
教育委員会事務局
学芸員 稲吉 昭彦

国指定
重要
文化財

旧京藤甚五郎家住宅は、南越前町今庄宿伝統的建造物群保存地区の中ほとに位置します。主屋は妻壁を立ち上げ卯建とし、居室部と座敷棟で構成される越前地域で最古級の大規模町家で、寛政11年(1799)12月の大火で被災した後に建て替えられました。主屋正面構えは、道路側に前転びの傾斜をつけており、これは摺り上げ戸の安定を図ったものと思われま。このような仕様は越前地域の町家で数多くみられ、地域的な特徴の一つといえます。



【公開日】毎週金曜・土曜・日曜・祝日
10:00~16:00 まで
(年末から2月までの冬期間は非公開)



4 永平寺町

しま ほうきょういん とう 島の宝篋印塔

【推薦者】
永平寺町生涯学習課主事
学芸員 杉田 曜

町指定
史跡

永平寺町松岡島地区の一角に残る、南北朝後醍醐天皇の皇子、尊良親王の墓石と伝えられています。昭和48年に永平寺町指定史跡となり、無銘ですが越前式荘厳の種子を持ち、14世紀の作と考えられます。笏谷石製。

令和7年3月新規に鞘堂が完成しました!枯死していた薄墨桜の再生植樹もかねて、より見学しやすいよう整備しており、令和8年3月には参道もできる予定です!同地区神明神社にあったとされる木造の狛犬一対も同時代の作で、県内では共に稀少な遺存例になります!!

おすすめポイント/
👉



5 越前市

えちぜん し 越前市

たけふ こうかい とう きねん かん 武生公会堂記念館

【推薦者】
越前市文化振興課
滝本 理紗

国登録
有形
文化財

越前市の博物館として利用されている武生公会堂記念館は、昭和初期の面影を残す建物として国の登録有形文化財に登録されています。昭和天皇の即位を記念する御大典事業として、昭和4年(1929)に、当時、武生ではまだ珍しかった鉄筋コンクリート造で建設されました。塔屋に施された垂直線意匠や、楕円等を用いた1階玄関の意匠など、およそ100年を経た今も、その外観は当初のものからほとんど変わっていません。レトロモダンな内装は、建設費の約半が費やされたのも納得の豪華さで、見ごたえ抜群です。

【所在地】越前市蓬萊町8-8
【開館時間】10:00~18:00(入館は17:30 まで)
【入館料】無料(特別展・企画展は有料)
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/28~1/4)

【アクセス】
ハビラインふくい「武生駅」から徒歩5分
北陸自動車道「武生IC」から車で10分



貴賓室



螺旋階段



宝篋印塔



島の狛犬(木造)



【アクセス】
北陸自動車道「福井北IC」から車で6分



7 池田町

うめだし てい えん 梅田氏庭園

【推薦者】
教育委員会事務局
山内 貴文

国指定
名勝

梅田氏庭園は、国指定名勝の歴史ある名園です。鎌倉末期から室町期の趣を残し、苔庭と滝が織りなす幽邃な景観は写真映え抜群。四季折々の美と歴史を楽しめる、心癒すスポットとしておすすめです。



【公開日】春・秋に各3日程度、特別公開日あり
【電話番号】0778-44-6106(庭園管理者)
【入園料】300円 子どもは100円



6 鯖江市

かぶた やま こ ふん 兜山古墳

【推薦者】
鯖江市まなべの館
学芸員 森田 真史

国指定
史跡

兜山古墳は、市内を縦走る鯖江台地の北部に築造された北陸最大級を誇る大型円墳です。二段築成に仕上げられ、墳丘を囲むように堀割が巡ります。また、墳丘規模は最大基底径70m、高さ9m以上と推定されます。その仕様や雄大な規模から当時周辺地域を治めた首長の墓とみられ、当地を象徴する遺跡です。現在では、復元整備を終えて造営当時を彷彿とさせる姿となっており、古代浪漫に思いを馳せる場として市民に愛されています。



推しの文化資源

ふくい
嶺北
11市町



展示

【展示場所】福井市立郷土歴史博物館

8 福井市

れん こもん めいたい きょう 連弧文銘帯鏡

【推薦者】
福井市文化振興課
大川 進

県指定
有形
文化財

4世紀前半の花野谷1号墳から三角縁神獸鏡と同時に出土しました。中国の前漢時代(日本では弥生時代)の鏡で、1号墳の築造時期から400年余前に製作されて伝世した、「伝世鏡」といわれるものです。文様が不鮮明で破損した鏡の真ん中にあるひもを通す穴の代わりに、縁に2つの穴をあけている様子から、代々大切に使われてきたことが伺えます。製作からどのような経緯でこの地にもたらされ埋葬されたのか、古墳時代の社会構造を考える上で大変興味深いです。



鏡出土状況
(右:連弧文銘帯鏡、左:三角縁神獸鏡)